

番匠川水系流域治水プロジェクト【位置図】

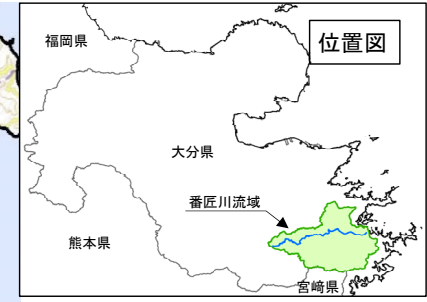
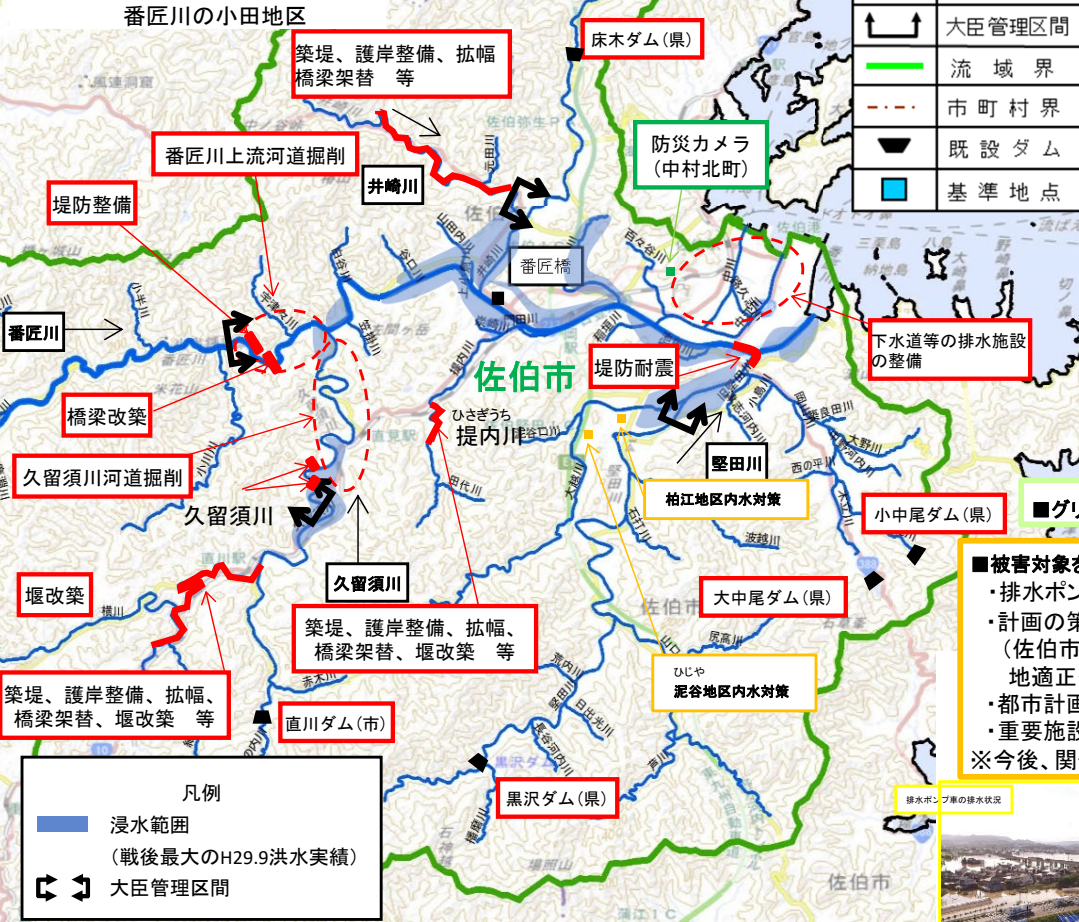
～佐伯市民に愛される豊かな自然環境の保全と豪雨災害や東南海・南海地震対策を推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大分県南の主要都市である市街化された佐伯市を貫流することで、浸水被害発生時に多大な影響があるという流域の特性を踏まえ、堤防整備、河道掘削、下水道整備等の事前防災対策を進めることで国管理区間においては、現行河川整備計画の目標の平成17年9月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成29年9月洪水でも堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・堤防耐震、河道掘削、堤防整備、堰改築、橋梁改築 等
 - ・下水道等の排水施設の整備
 - ・利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：大分県、佐伯市、土地改良区など）
 - ・砂防対策（砂防施設整備、急傾斜地対策、）
 - ・森林整備・治山対策（治山施設整備・森林整備）
 - ・水田の貯留機能向上
 - ・ため池の補強・有効活用
 - ・内水被害対策



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・水位計・防災カメラの設置
 - ・各種防災情報ツールの作成・普及（マイ・タイムライン、避難経路危険箇所マップ、ため池 ハザードマップ、大分県版マイタイムラインの活用促進）
 - ・防災啓発活動（水防災啓発活動の強化、防災訓練（風水害）、VRでの防災意識啓発、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成）
 - ・情報発信、発信する情報の改善・強化（防災アプリ、メールによる情報発信、防災カメラの発信強化、防災気象情報の改善・充実、中小河川における氾濫推定図・ハザードマップの作成）
 - ・防災教育・意見交換会の実施・講師派遣（自治体向け防災対応ワークショップの実施、防災士養成研修、マスコミとの意見交換会の実施、住民主体の避難訓練への支援）等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



- グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ
 - 被害対象を減少させるための対策
 - ・排水ポンプ車による排水計画の策定
 - ・計画の策定・改定（佐伯市都市計画マスタープランの改定、佐伯市立地適正化計画の策定）
 - ・都市計画道路の見直し
 - ・重要施設の移転
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



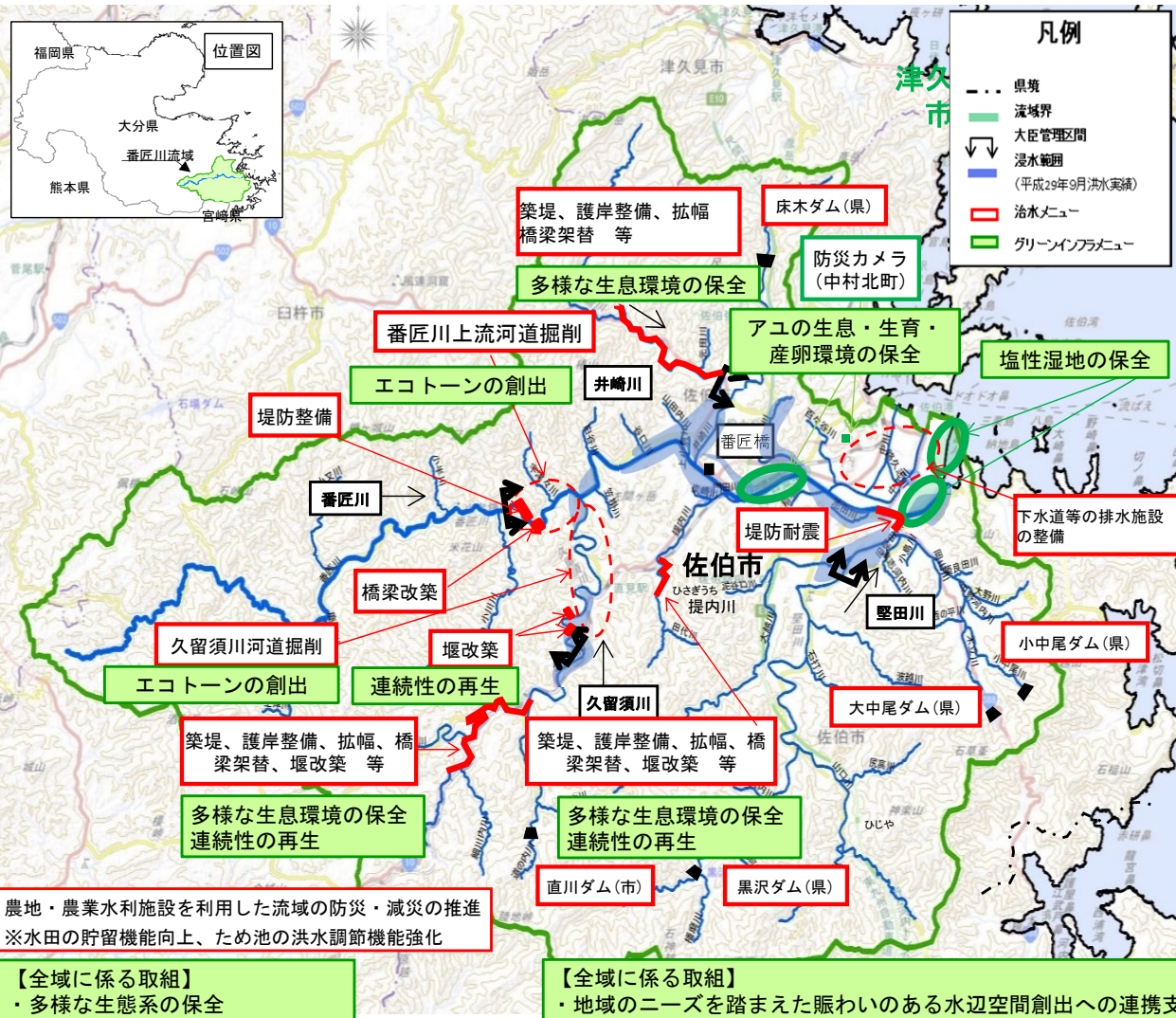
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合がある。

番匠川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～佐伯市民に愛される豊かな自然環境の保全と豪雨災害や東南海・南海地震対策を推進～

●グリーンインフラの取り組み 『清流番匠川の豊かな自然環境の保全』

- 番匠川水系は大分県南の主要都市である佐伯市を貫流し、ヨシやアラカシ、アユやカジカガエルをはじめとした動植物の豊かな生育、生息環境が多数存在し、「清流」と言われるほど非常に水がきれいな川です。また、水辺を利用できる空間が多く存在し、水遊び、散策、カヌーにも活用され、佐伯市民の憩いの場になっています。
- 番匠川の下流部においてアユの生息環境・生育・産卵環境を保全するため、今後20年間で瀬・淵を保全するなど、自然環境を有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。



●治水対策における多自然川づくり

- ・塩性湿地の保全
- ・エコトーン創出
- ・アユの生息・生育・産卵環境の保全
- ・連続性の再生

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小学生による環境学習、中学生による水辺利用（カヌー）



塩性湿地の保全

アユの生息・生育・産卵の保全



カヌー遊びで番匠川の魅力を発見

小学生の環境調査



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

番匠川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～佐伯市民に愛される豊かな自然環境の保全と豪雨災害や東南海・南海地震対策を推進～

●番匠川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国県市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進します。

【短期】大分県南の主要都市である佐伯市の洪水被害軽減として、流下能力が不足する番匠川、支川井崎川、久留須川においては河道掘削、堤防の耐震対策を実施します。県管理区間においても井崎川、提内川の河道掘削を実施し、佐伯市においては、内水対策として下水道整備も併せて実施します。併せて、水位計・防災カメラの設置等の整備を進めていきます。

【中期】本川及び支川の中流部の浸水被害対策として、番匠川では堤防整備、河道掘削を実施します。また、県管理区間では井崎川、久留須川、提内川の築堤、河道掘削を継続するとともに、新たに橋梁架替や堰改築を実施します。併せて、タイムラインの策定や防災情報の発信等も引き続き地域住民と一体となって実施します。

【中長期】本川及び支川の上流部の浸水被害対策として、番匠川では河道掘削を継続するとともに新たに橋梁架替に着手します。県管理区間においては引き続き、井崎川、久留須川の築堤、河道掘削、橋梁架替や堰改築を継続して実施することで、流域全体での治水安全度の向上を図ります。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | | |
|---------------------|---------------------------|-----------------|---|----|-----|
| | | | 短期 | 中期 | 中長期 |
| 氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策 | 堤防耐震、河道掘削、堤防整備、堰改築、橋梁改築 | 佐伯河川国道事務所 | [Red bar] | | |
| | | 大分県 | R元～R25(井崎川)、R元～R30(久留須川) | | |
| | | 大分県 | H30～R9(提内川) | | |
| | 下水道等の排水施設の整備 | 佐伯市 | 雨水幹線整備等 | | |
| | 利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 | 大分県、佐伯市、木立土地改良区 | (床木ダム、小中尾ダム、大中尾ダム、黒沢ダム、直川ダム) | | |
| | 砂防対策 | 大分県 | 流域内の溪流における土砂流出や流木を抑制する砂防設備及び地すべり防止施設の整備 | | |
| 森林整備・治山対策 | 大分森林管理署 大分県森林整備センター | [Red bar] | | | |
| 被害対象を減少させるための対策 | 排水ポンプ車による排水計画の策定 | 佐伯河川国道事務所 | [Yellow bar] | | |
| | 重要施設の移転 | 佐伯市 | 振興局庁舎の移転・新設 | | |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 情報発信、発信する情報の改善・強化 | 大分県 | おおいた防災アプリ、県民安全・安心メールによる防災情報の配信(メール:H20～ アプリ:H31～) | | |
| | | 大分県、佐伯市 | 中小河川における氾濫推定図、ハザードマップの作成 | | |
| | | 佐伯市 | 防災カメラの発信強化 | | |
| | | 大分地方気象台 | 毎年継続して行う取組み | | |
| グリーンインフラの取組 | 塩性湿地の保全 | 佐伯河川国道事務所 | 河口部の塩性湿地の保全 | | |
| | アユの生息・生育・産卵環境の保全 | 佐伯河川国道事務所 | 下流部でアユの生息・生育・産卵環境の保全 | | |
| | 環境学習、水辺利用(カヌー) | 佐伯河川国道事務所・大分県 | 番匠川全川で環境学習や水辺利用(カヌー) | | |
| | エコトーンの創出 | 佐伯河川国道事務所 | 番匠川上流部や久留須川でエコトーンを創出 | | |
| | 連続性の再生 | 佐伯河川国道事務所・大分県 | 久留須川や提内川で連続性の再生 | | |



■ 河川対策 (約182億円)
■ 砂防対策 (約 68億円)
■ 下水道対策(約 4億円)